

## 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

山口県

行 事 名 称	毛利邸消防訓練（重要文化財消防訓練）
実施期間・日時	平成30年1月28日（日）10:00～11:00
実 施 場 所	毛利邸（山口県防府市多々良一丁目15番1号）
主 催 者	公益財団法人 毛利報公会、防府市教育委員会教育部文化財課、防府市消防本部、防府市消防団

## ■実施内容

## 訓練の想定

毛利邸事務所から出火し、北側及び東側へ延焼中。火災に気付いた毛利邸関係者は、119番通報し、初期消火及び観覧者の避難誘導を実施するが延焼拡大のおそれが生じる。また、観覧者が逃げ遅れ、そのうち1人が負傷する。

## 訓練の内容

毛利邸職員による火災発見。119番通報、水消火器を使用した初期消火、観覧者の避難誘導を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。訓練終了後にはしご車と救急車の車両展示を実施。

## 参加者及び役割分担

1	公益財団法人 毛利報公会	8人	119番通報、初期消火、避難誘導
2	防府市教育委員会教育部文化財課	5人	観覧者役で避難を実施
3	防府市消防本部予防課	3人	119番通報・初期消火及び避難誘導の監視、観覧者役で避難を実施
4	防府市消防本部消防署	36人	消防車及びはしご車からの放水訓練、避難誘導、負傷者搬送、全体統括、講評
5	防府市消防団（2分団）	10人	消防車からの放水訓練

## 特に工夫した点

実際の火災を想定したもので、自動火災報知設備を作動させベルを鳴動し、職員による火災発生の伝達及び避難を促す管内放送を実施。はしご車を使用し建物上部から延焼状況の確認及び放水を実施。直近消火栓から消防団車両を使用した中継送水を実施。

## 問題点・課題

建物が木造建築物のため延焼拡大速度が速いと予想されるため、初期消火と避難誘導が的確にできなければ被害の軽減ができない。建物が大規模のため、一方向からでは全体が把握できない。直近消火栓から建物までの距離が約400mのため、初期の段階では敷地内の自然水利の活用が必要。

## その他

訓練を実施することで、関係者の防災への意識高揚を図り、職員の役割分担等の確認をする機会となっており、消防署としても警防計画の見直し等に役立てていきたい。

## 訓練風景

